

平成三十一年度 鳳凰高等学校一般入学試験

国

語

問

題

注 意

- 1 問題用紙は、監督者の「始め」の合図があるまで開いてはいけません。
- 2 問題用紙は六ページ、解答用紙が別に一枚あります。
- 3 受験番号は、解答用紙及び問題用紙の決められた欄にそれぞれ記入しなさい。
- 4 答えは、問題の指示に従い、すべて解答用紙に記入しなさい。
- 5 監督者の「やめ」の合図で解答用紙を裏返しなさい。
- 6 問題用紙も回収しますので、持ち帰ってはいけません。

受験
番号

国 語

1 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

〔一〕足は、立つためにある。

サッカー選手にとっては、足はボールを蹴るためだろうし、陸上選手にとっては走るためにある。なにか用事をかかえた人には、目的地まで歩くために足が必要だ。

でも、ただ「立つ」ためにも足はある。歩いたり走ったりなら、目的はわかる。そこに移動するためだ。しかし、立つということにはどんな目的があるのか。ていねいに挨拶をするため、レジでお金を払うため、電車で席が空いていないため、立つことの原因も、いくらでも例をあげられる。しかし「歩く」に比べて「立つ」には、生物としての目的が弱いようにも思える。

ヒトは、なぜ立つのか。その理由を説明するのは難しい。でも明快な理由がない分、「立つ」ことのほうが、「歩く」や「走る」ことよりも人間存在としての深遠さに触れているようにも思える。立つというのは、目先の利益追求を超えた、**X**の行為にも思えてくる。

ヒトは立つ。「なぜに」という説明はいらぬ。説明できないから深いということもあるのだ。

たしかに「二足直立」は深い。なにしろ、**①**ヒトとサルを分ける身体的な特徴は何かといったら、この「立つ」ということが全ての基本となるからだ。

〔二〕ヒトはいつから「立ち」始めたのか。これは言い方が逆かもしれない。立つことによって、サルはヒトになった。では、どのようにしてヒトは立ったのか。これにはいくつかの説がある。まずは**②**ブラキエーション説で、これは森のサルが木の枝にぶらさがって、体を垂直の姿勢で移動したことがキゲン^aなのだと考える説だ。幼稚園などにある遊具で、子どもたちがぶら下がって移動する。かつてのヒトの祖先であるサルは、そんなことを繰り返し反復して「垂直の」姿勢がそのまま立つことへとつながったというのだ。

水生のサル、という説もある。ブラキエーション説が森での進化だとしたら、こちらは海や川での進化だ。つまりサルからヒトへと進化するある時期に、水の中で暮らしていた。そもそもサルはどうして立たないかといえば、地球の重力に抗してバランスをとるのが難しいからだ。しかし水の中は浮力があり、立つ姿勢をするのも楽だ。私は、長野県地獄谷温泉で、温泉の湯に腰まで浸かり二足歩行しているサルの姿を目撃したことがある。

この水生のサル説を唱えたのは、博物学者のライアル・ワトソンで、以前、氏と会ったとき「この説のアイデアを、どのようにして得たのか？」と聞いたら「テングザルだ」と答えてくれた。ボルネオのジャングルにテングザルというサルがいる。名前のとおり鼻が大きい。このサルを見ると、つい顔に目がいつてしまうが、じつさい自然の中の森で遠くから見ると、顔よりも足が気になる。もものかたちが、人間にそっくりなのだ。私は、テングザルには背中にチャックがあつて、そこから人間が出てくるのではないかとすら思った。それほどヒトに似ている。高等霊長類といえはチンパンジーやオランウータンで、同じボルネオのジャングルにいるオランウータンも、その仕草や背中**④**の伸ばし方がヒトに近い。しかし**③**太ももの感じは、テングザルのほうが印象深い。

このテングザル、昼はジャングルの奥で果物などを食べているが、夜になると川辺の木に移動する。ときに川に飛び込んで、泳いで川を渡る。水深が浅いところでは立つて歩く。水から上がった後も二本足で立つて歩いていることもある。水中で二足歩行の癖がついて、短時間なら立つて歩けるようになったらしい。それを見たライアル・ワトソンは、「ヒトの祖先もこのように水の中で暮らしていたのではないか」と考え、水中のサル説を唱えた。もちろん、ボルネオ島のテングザルが、ヒトの直接の祖先というわけではない。**A**何百万年前か、どこかの水辺で暮らしていたサルが、こんなふうAに立ちあがり、やが

てヒトへと進化したのかもしれない。⑤「立つ」ことは、ヒトへの進化の第一歩だったのだ。

〔三〕でもなぜ、二足直立が、ヒトへの進化の始まりなのか。ヒトの体の特徴といえは、なにより脳が大きいこと、それに手が器用なことだ。そこに「立つ」ことが、どう関与しているというのか。

じつは、立つことこそが、ヒトにとってなにより大切なことだった。四本足の動物では、頭はドウタイの前にある。頭部は、首が支えている。もし頭部が大きく重くなったら、首の力だけでは支えきれなくなってしまう。しかし体がまっすぐに立っていればどうか。背中から首へと脊柱がある。骨の柱だ。だからその上に大きな頭が乗っていても、バランスさえよければ、かなりの重さを支えられる。 B 立つことで、脳が大きくなった。

それと同時に、立つことで、手は移動のための用途から解放された。そこで器用な作業ができるようにと進化した。大きな脳と、器用な手。それが組み合うことで道具が作られ、道具はさらに進歩・改良され、現代の文明へと至った。そのはじまりは何かといえは、二本の足で立ったことだ。だから二足直立こそ、サルとヒトを分かち何よりの違いなのだ。

(布施英利『体の中の美術館』による)

問1 波線部 a、c のカタカナは漢字に直し、漢字は読みを答えよ。

問2 二重傍線部「らしい」と同じ働きのものを次から選び、記号で答えよ。

- ア この事件を解決したのはあの名探偵らしい。
- イ 小学生なのだから子供らしい服装をしよう。
- ウ あのかわいらしい白い犬は私のペットです。
- エ あなたが学校を欠席するなんてめずらしい。

問3 空欄 A・B に入る言葉として最も適当なものをそれぞれ次から選び、記号で答えよ。

ア しかし イ そして ウ つまり E また

問4 空欄 X に入る言葉として最も適当なものを次から選び、記号で答えよ。

ア 無限 イ 無効 ウ 無償 E 無情

問5 傍線部①と同じ内容の一文を〔三〕段落から抜き出し、最初の五字を答えよ。

問6 傍線部②・③について、それぞれ三十字以上四十字以内で、「という説」に続くように説明せよ。

問7 傍線部④の理由となる一文を文中から抜き出し、最初の五字を答えよ。

問8 傍線部⑤について、「立つ」ことによってヒトが得たものを端的に示した言葉を、文中から十字程度で抜き出せ。(句読点を含む。)

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

さて、任務が終わったので帰ることとなった。かりていた衣を脱いで、もといた場所に帰る。

〔中略〕

任務は三年のこともあるし二十年にわたることもある。私の場合は十八年だった。十八年、いろいろあった……と言いたいところだけど、私には今より前のことを考えることができないから、覚えていない。私を迎えたときのさくらはおばさんだったけれど、この任務期間におばあさんになった。すっかり平和的なおばあさんだ。帰ったら私はこの功績をたたえられて表彰されるだろう。

それではさくらは、さようなら。さようなら、ありがとう。

衣を脱いで、帰っていくあいだ、背を丸めて私の脱いだ衣を抱きかかえて、わおんわおんと吠えるように泣きながら、私の名前を呼ぶさくらの声が聞こえていた。

思ったとおり、私は十八年の功績を評価されて、表彰され、ご褒美に休暇をもらうこととなった。私は少し考えたのだけれど、休暇を返上し、任務の結果を視察したいと願い出た。平和なおばあさんになったさくらは、私がいなくなると、凶悪なおばあさんになっていなか視察したい。本来ならば、任務を離れたばかりのニンゲンの元へ戻るのは許可されない。けれどもたぶん、私の功績が認められ、その視察目的も納得のいくものだったのだろう。許可が下りた。一日だけ。

灰色の、汚れた外用の衣をかりて、私はふたたび、住み慣れた町へと降りていき、赤い屋根のちいさなおうちの前にたどり着く。見つかったらいけない。あくまで視察なのだ。

しばらくするとドアが開いておばあさんが出てきた。さくらは、面白いものに行くのだ。前より背中を丸めて、しょんぼりとして、足取りも重い。なんだか凶悪になっている気がする。シュウシュウ前のゴミを蹴ったり、ちいさな生き物に石を投げつけたりするのはないか。そうしたら私の十八年もの任務がパーだ。見つからないように、こっ

そりあとをつける。公園を通り過ぎたところでさくらは足を止める。じっと何かを見る。知っている。電信柱の下にずっと前から付着しているペンキが、私か、私の仲間に見えるのだ。まったく同じ場所なのに、さくらは何度でも見間違いをして足を止める。そして間違いに気づいて、なんだペンキか、と笑って立ち去るのだ。

でもこのときは、立ち去らず、その電信柱に近づいていく。私でも、私の仲間でもない、ただのペンキの汚れだとわかっているのに近づいて、しゃがむ。蹴るのか、唾を吐くのか。注視していると、さくらは、手と手を伸ばし、ただのペンキあとをやさしく撫でる。

びくりとする。その手の感触が、じかに触られたかと思うくらいはつきりわかったから。まるくて分厚くて、乾いていてあたたかい手のひら。背中を、耳の後ろを、額を、顎を包むように行き来する手のひら。私は今撫でられているかのようにさくらの手のひらの感じを思い出す。驚いたことに、それを合図のようにして、次々といろんなことがあふれ出してくる。ちいさなちいさな私を包んだ両手。頭をもたせかけて眠った、ふわふわのおなか。嫌いだっただのシャンプーの泡と、やわらかいシャワーのお湯。テーブルに乗り、ソコねて床に落ちて、それを見てはじけるように笑う声。毎日用意されるごはん、おいしいねえと言う声。あたたかい陽射しのなかでの居眠り、混じり合う私たちの寝息。今、ただのペンキあとを撫でているさくらは、おんなじことを思い出しているのが私にはわかる。私を失ってあなたは凶悪になんかなっていない、何も恨んでも怒ってもいない。ただ、自分を満たすものをくり返し確認している。あくまで平和に。

ねえ、ねえ、きつといつか、また別の衣をまもってあなたのところへ派遣されるから待っていてよ、とものかけから私は言いそうになる。でも言わないのは、おんなじことをさくらはさんもまた、思っていることがわかるから。さくらはさんもいつかまた、Xと確信していることが、わかるから。

あれ？ 私、今より前のことも先のことも、わからないはずなのに。なのに、思い出しているし、いつかわからない先のことを考えている。

あ、そうか、私はニンゲンを視察したかったのではなくて、本当は、このことを知りたかったのだ。時間の概念がない私にも、「今」を作ってきた今までがあり、「今」が作るこの先があると、そのことを確かめたかったのだ。さくらさんは、ペンキあとを撫でていた手をふと止めて、ふり返る。私は咄嗟にものかげに隠れる。見つからなかったはずだけれど、さくらさんは、十八年ずっと私に向けていたのと同じ顔でにいつと笑うと、立ち上がり、青空の下、歩いていく。

(角田光代「任務十八年」による)

問1 波線部a～cのカタカナを漢字に直せ。

問2 二重傍線部A～Dの熟語の中で、構成が異なるものを一つ選び、記号で答えよ。

問3 傍線部①において使用されている表現技法を次から二つ選び、記号で答えよ。

- ア 擬人法 イ 直喩 ウ 隠喩
エ 体言止め オ 擬声語

問4 傍線部②はどのようなことを表しているのか。次の説明文の空欄にあてはまるように、文中から九字で抜き出して答えよ。

さくらさんと一緒に生活をするので、
さくらさんを()にしたこと。

問5 傍線部③について、これは何のためか。「するため。」に続くように、文中から十五字で抜き出して答えよ。

問6 傍線部④とはどのようなことか。二十五字以内で説明せよ。

問7 空欄Xに入る言葉として最も適当なものを次から選び、記号で答えよ。

- ア 私が自分のところに戻ってくる
イ 私が任務の功績を評価される
ウ ペンキの汚れを撫でに行く
エ 私に新しい服を買ってあげる

問8 次の会話は、この文章を読んだAさんとBさんが表現の特徴について話し合っているものである。会話中の空欄Ⅰ～Ⅲに入る言葉を、Ⅰは四字、Ⅱは二字でそれぞれ文中から抜き出し、Ⅲは自分で考えて答えよ。

Aさん…この作品の「私」って何だと思う？ 少なくとも、さくらさんを(Ⅰ)と表現しているところを見ると、人間以外の生き物だよな。

Bさん…そうね、自分たちとは違う生き物として、一線を引いて区別している感じがする表現よね。

Aさん…人間と共に生活することを(Ⅱ)と表現しているのもユニークだと思うな。

Bさん…そう表現されると、何かこう「上から視線」というか、「自己中心的」というか…、いずれにせよ、馴れ合いを好まない所つけなさみたくないものが感じられるよね。

Aさん…なるほど、そういうところまで考えるとある程度絞られてくるかな…。

Bさん…ところで、この「私」は死んでしまったのかしら？ なんだかそこも曖昧よね。

Aさん…え、そうだっけ？ ……本当だ、直接は書いていないね。僕はてっきり死んでしまったものとみなして読み進めていたよ。うーん、これはどう考えるべきかなあ…。

Bさん…こんな風にあえてぼかした表現にすることで、私たち読者が(Ⅲ)ことができるのも、小説の面白さの一つよね。

次の古文を読んで、後の問いに答えなさい。

今は昔、北^{きたのへ}辺の左大臣と申す人おはしましけり。

〈中略〉

①万^{よろづ}の事やむごとなくおはしましける中に、管^{くわんげん}絃の道をなむえもいはず知り給^{たま}ひたりける。その中にも箏^{しやう}の琴をなむ並びなく弾き給ひける。

しかるに、大臣、ある時に、夜、箏の琴を弾き給ひける、夜もすがら心に趣ありて弾き給ふ間、暁^{あけ}がたになりて、難^{たが}き手のやむごとなきを取り出でて弾き給ひける時に、我が心にもいみじくめでたしと思ひ給ひけるに、前の放出^{はなはらいで}の格子^{かかし}の上^{うへ}げられたる上に、物の光るやうに見えければ、何の光るにかあらむと思ひ給ひて、やはら見給ひけるに丈一^{ぢやういち}尺^{せき}ばかりなる天人^{てんじん}どもの二、三人ばかりありて、舞^{まひ}ふ光なりけり。

大臣これを見て、「我がめでたき手を取り出でて箏の琴を弾くを、天人の感じて下り来て舞ふなりけり」と思ひ給ふ。あはれに貴く思ひ給ひけり。

まことにこれ、あさましくめでたき事なり。

〔『今昔物語集』による〕

※ 箏の琴…十三本の弦を張った弦楽器。

※ 手…曲。

※ 放出…母屋などに続けて外に張り出した形で建てられた建物。

※ 格子…建具の一種。細い角材を縦横に組んで作った戸。

※ 一尺…約三十センチメートル。

問1 波線部を現代仮名遣いに直せ。

問2 傍線部①・②の文中での意味をそれぞれ答えよ。

問3 傍線部③について、思った内容を文中から抜き出せ。

問4 傍線部④について、次の問いに答えよ。

I 誰が舞ったのか。文中の言葉で五字以内で答えよ。

II なぜ舞ったと大臣は思ったのか。「琴」という言葉を用い、説明せよ。

問5 傍線部⑤の解釈として、最も適当なものを次から選び、記号で答えよ。

A 大臣が、しみじみと心打たれる尊いことだと思ひになった。

I 大臣が、かわいそうだが身分が高いことだと思ひになった。

ウ 天人たちが、物足りなくもつと尊い存在だったらと思ひになった。

エ 天人たちが、しみじみとして気高いことであると思ひになった。

問6 書き手が感想を述べている一文を文中から抜き出し、最初の二字を答えよ。

4 次の問いに答えなさい。

問1 次の四字熟語について、後の問いに答えよ。

① 言語道断	② 自業自得
③ 以()伝()	④ ()朝()夕
⑤ 無我ムチュウ	⑥ タントウ直入
⑦ 臨機応変	⑧ 我田引水

I ①・②の読みを答えよ。

II ③・④の空欄にそれぞれ同じ漢字を入れて完成させよ。

III ⑤・⑥のカタカナの部分の漢字に直せ。

IV ⑦・⑧の意味として最も適当なものをそれぞれ次から選び、記号で答えよ。

- ア 物事が絶えず変化していき、はかないこと。
- イ 自分に都合の良いように取りはからうこと。
- ウ 面倒なことをてきぱきと処理していくこと。
- エ その時、その場に、適切な手段をとること。

問2 次の文の傍線部の「し」は動詞である。活用の種類と活用形を答えよ。

バシヤツと音がして、池の方を見ると大きな魚がはねていた。

平成 31 年度 鳳凰高等学校 一般入学試験

数学 問題

注 意

- 1 問題用紙は、監督者の「始め」の合図があるまで開いてはいけません。
- 2 問題用紙は 6 ページ、解答用紙が別に 1 枚あります。
- 3 受験番号は、解答用紙及び問題用紙の決められた欄にそれぞれ記入下さい。
- 4 答えは、問題の指示に従い、すべて解答用紙に記入下さい。計算等は、問題用紙の余白を利用下さい。
- 5 監督者の「やめ」の合図で解答用紙を裏返し下さい。
- 6 問題用紙も回収しますので、持ち帰ってはいけません。

受 験 番 号					
------------	--	--	--	--	--

1 次の計算をなさい。

(1) $9 - (-2) \times 3$

(2) $3x^2 - 5x + 6 - (2x^2 + 7x + 3)$

(3) $\frac{3a + 2b}{6} - \frac{a - 3b}{4}$

(4) $(-3a^2b)^4 \div 12a^5b^2$

(5) $(\sqrt{7} - 1) \times (\sqrt{7} + 3)$

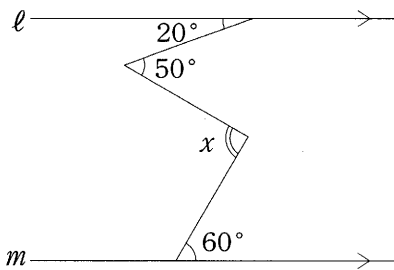
2 次の問いに答えなさい。

(1) 2次方程式 $x^2 + 3x = 0$ を解け。

(2) 濃度3%の食塩水400gに含まれる食塩の量を求めよ。

(3) y は x に反比例し、 $x=2$ のとき $y=3$ である。このとき、 y を x の式で表せ。

(4) 下の図において、 $l \parallel m$ であるとき、 x の大きさを求めよ。



(5) 下の表は、生徒10人の通学時間を度数分布表に表したものである。10人の通学時間の平均を求めよ。

階級(分)	度数(人)
0 以上 ~ 10 未満	2
10 ~ 20	5
20 ~ 30	3
計	10

3 ある日、鳳凰商店でゼリーを1箱400円、プリンを1箱600円で販売したところ、合わせて100箱売れ、売り上げは51000円であった。このとき、次の問いに答えなさい。ただし、消費税は考えないものとする。

(1) この日、ゼリーとプリンがそれぞれ何箱売れたかを次の手順で求める。

(解)ゼリーが x 箱、プリンが y 箱売れたとすると

$$\begin{cases} \boxed{\text{ア}} = 100 \\ \boxed{\text{イ}} = 51000 \end{cases}$$

これを解くと、 $x = \boxed{\text{ウ}}$, $y = \boxed{\text{エ}}$

よって、ゼリーが $\boxed{\text{ウ}}$ 箱で、プリンが $\boxed{\text{エ}}$ 箱売れた。

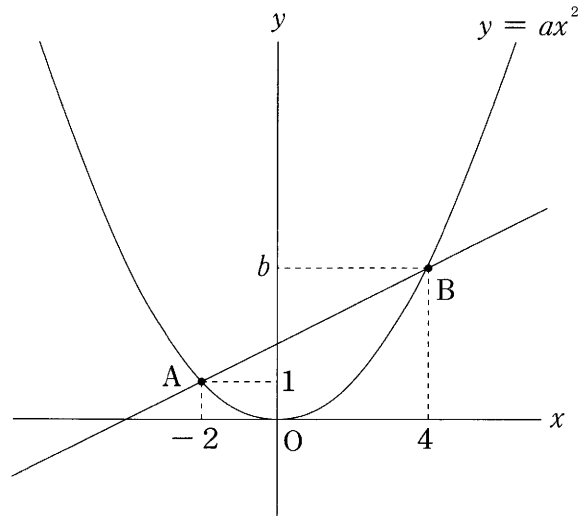
① $\boxed{\text{ア}}$, $\boxed{\text{イ}}$ にあてはまる式を x と y を用いて表せ。

② $\boxed{\text{ウ}}$, $\boxed{\text{エ}}$ にあてはまる数を求めよ。

(2) 別の日にゼリーとプリンをそれぞれ2割引きで販売したところ、合わせて170箱売れた。このとき、ゼリーの売り上げはプリンの売り上げより2400円高かった。この日の売り上げを求めよ。

4 下の図のように、放物線 $y = ax^2$ (a は定数) … ① のグラフ上に2点 $A(-2, 1)$, $B(4, b)$ がある。このとき、次の問いに答えなさい。

(1) a, b の値を求めよ。

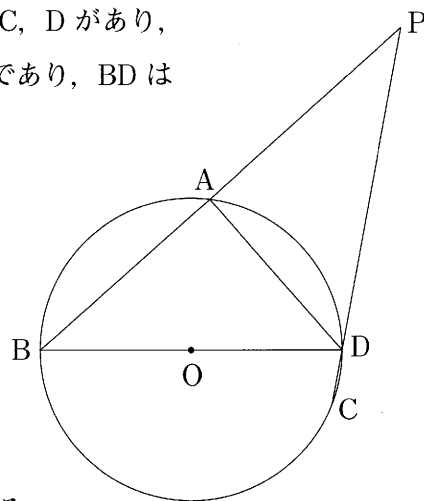


(2) 直線 AB の方程式を求めよ。

(3) 放物線①のグラフ上に点 $C(-6, 9)$ をとるとき、 $\triangle ABC$ の面積を求めよ。

(4) y 軸上の $y > 0$ となる部分に点 D をとり、 $\triangle ABD$ をつくる。 $\triangle ABD$ の面積が $\triangle ABC$ の面積の半分になるとき、点 D の座標を求めよ。

5 右の図のように、点 O を中心とする円の周上に 4 点 A, B, C, D があり、2 直線 AB, CD の交点を P とする。PA = AB = 6, PD = 8 であり、BD は円の直径である。このとき、次の問いに答えなさい。



(1) $\angle BAD$ の大きさを求めよ。また、AD の長さを求めよ。

(2) $\triangle PAD$ と $\triangle PCB$ が相似であることを次の手順で証明する。

次の にあてはまるものを下の①～⑨の中からそれぞれ選び、番号で答えよ。

(証明)

$\triangle PAD$ と $\triangle PCB$ において

$\angle APD =$

$\angle PAD =$

よって、 ので

$\triangle PAD$ $\triangle PCB$

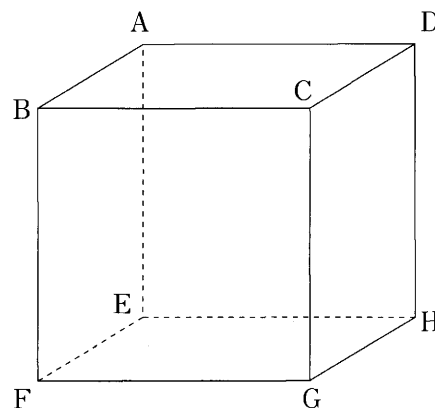
(証明終わり)

- | | | | |
|-------------------------|-----------------|----------------|------------------|
| ① $\angle PBC$ | ② $\angle PCB$ | ③ $\angle CPB$ | ④ 3 組の辺の比がすべて等しい |
| ⑤ 2 組の辺の比とその間の角がそれぞれ等しい | ⑥ 2 組の角がそれぞれ等しい | | |
| ⑦ $=$ | ⑧ \equiv | ⑨ ∞ | |

(3) PC の長さを求めよ。

(4) PO と AD の交点を E とする。AE : ED = 1 : 2 のとき、 $\triangle CDE$ の面積を求めよ。

6 右の図のように、1辺の長さが2の立方体 ABCD-EFGH がある。
このとき、次の問いに答えなさい。



(1) $\triangle BCF$ の面積を求めよ。

(2) 三角すい A-BCF の体積を求めよ。

(3) 三角すい A-CFH の体積を求めよ。

(4) 三角すい A-CFH において、点 A から $\triangle CFH$ に下ろした垂線の長さを求めよ。

平成31年度 鳳凰高等学校 一般入学試験

英語 問題

注 意

- 1 問題用紙は、監督者の「始め」の合図があるまで開いてはいけません。
- 2 問題用紙は6ページ、解答用紙が別に1枚あります。
- 3 受験番号は、解答用紙及び問題用紙の決められた欄にそれぞれ記入下さい。
- 4 答えは、問題の指示に従い、すべて解答用紙に記入下さい。
- 5 監督者の「やめ」の合図で解答用紙を裏返し下さい。
- 6 問題用紙も回収しますので、持ち帰ってはいけません。

受験 番号					
----------	--	--	--	--	--

1 次のア～エの中で、下線部の発音が他と異なる語を1つずつ選び、記号で答えなさい。

- (1) ア drink イ child ウ life エ island
(2) ア seven イ bus ウ music エ sea
(3) ア go イ town ウ open エ cold

2 次のア～オの中で、2の部分をもっと強く発音する語を2つ選び、記号で答えなさい。

ア an-i-mal イ dif-fi-cult ウ to-mor-row エ in-ter-est オ De-cem-ber
 1 2 3 1 2 3 1 2 3 1 2 3 1 2 3

3 次の日本文に合うように、()にあてはまる語をア～エから1つずつ選び、記号で答えなさい。

(1) 私のおじはこの町に住んでいます。

My uncle () in this town.

ア live イ lived ウ lives エ living

(2) 割れたカップに触らないで。

Don't touch the () cup.

ア break イ breaking ウ broke エ broken

(3) 私は家の近くに開店したレストランに行きました。

I went to the restaurant () opened near my house.

ア which イ who ウ whom エ whose

(4) 彼が来るまで駅で待っていてくれませんか。

Will you wait at the station () he comes?

ア before イ since ウ until エ whether

(5) 雨は1時間前にやみました。

It stopped () one hour ago.

ア rain イ rained ウ raining エ rains

4

次の日本語に合うように、英文の()にあてはまる語を答えなさい。ただし、与えられた文字で始めること。

- (1) 「少しお金を貸してください。」 「すみません、今お金の持ち合わせがありません。」
 “Could you lend me some money?” “I’m sorry. I have no money (w) me now.”
- (2) 「何かお探しですか。」 「ちょっと見ているだけですから結構です。」
 “May I help you?” “No, (t) you. I’m just looking.”
- (3) 「そのスマートフォンを見せてくれませんか。」 「はい、どうぞ。」
 “Please show me the smartphone.” “(H) you are.”
- (4) 「今何時ですか。」 「7時半ですよ。」
 “Do you have the (t)?” “Yes, it’s half past seven.”
- (5) 「ロバート、こちらがリンダです。」 「はじめまして。」
 “Robert, this is Linda.” “(N) to meet you.”

5

次の日本語に合うように、ア～オの語句を並べかえて英文を完成させるとき、①～⑩にあてはまる語句をそれぞれ記号で答えなさい。

- (1) パーティーに行きませんか。
 Would you _____ ① _____ ② _____ ?
 ア go to イ like ウ the エ to オ party
- (2) 鹿児島の冬は東京ほど寒くありません。
 The winter in Kagoshima _____ ③ _____ ④ _____ Tokyo.
 ア as イ not as ウ is エ in オ cold
- (3) 私の夢はアメリカで野球選手になることです。
 My dream _____ ⑤ _____ ⑥ _____ the U.S.A.
 ア to イ is ウ in エ become オ a baseball player
- (4) 私たちにとって外国語を学ぶことは大切です。
 It is _____ ⑦ _____ ⑧ _____ foreign languages.
 ア to イ us ウ for エ learn オ important
- (5) あれはなんてすてきなお城なのでしょう。
 What _____ ⑨ _____ ⑩ _____ !
 ア a イ is ウ wonderful エ that オ castle

6 次は、天神(Tenjin)バスターミナルから鹿児島(Kagoshima)に行こうとしているJuliaとSteveがバスの便について会話をしている場面です。会話文を読んで、あとの問いに答えなさい。

Julia : We want to get to Kagoshima as soon as possible. But I don't want to take the No.5 because it's too early!

Steve : OK. Let me see... I think we should take the No.7.

Julia : The No.6 leaves earlier than the No.7. Why should we take the No.7?

Steve : Because we'll get to Kagoshima sooner. The No.6 will stop at more stops than the No.7 between Tenjin and Kagoshima.

Julia : Oh, I see.

Steve : What's the *fare that we're going to pay?

Julia : Well, let's take a look at the calendar on the *webpage. It shows the fare. Let's see...

Steve : There are three kinds of fare on the list, A, B and C. What does that mean?

Julia : Hmm... I got it! The fare is higher on weekends. Fare A is the highest, and fare C is the lowest.

Steve : So, it's January 19th Saturday today. That means... fare A! Oh dear, we have to buy tickets at the highest rate.

Julia : We have no choice, Steve. Let's go with it!

Steve : All right.

注) fare : 運賃 webpage : ウェブサイト

TIMETABLE

No. 5	Tenjin →	Hakata →	Chikushino →	Kurume →	Yame →	Airport →	Kagoshima
	7:45	7:50	8:20	9:00	9:30	10:45	11:35
No. 6	Tenjin →	Hakata →	Chikushino →	Kurume →	Yame →	Airport →	Kagoshima
	8:15	8:20	8:50	9:30	10:00	11:30	12:20
No. 7	Tenjin	→	Chikushino →	Kurume	→	Airport →	Kagoshima
	8:25		8:40	9:20		11:10	12:05

FARE CALENDAR

JANUARY	SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
FARE	A	B	B	C	B	B	A
WEEK 1			1	2	3	4	5
WEEK 2	6	7	8	9	10	11	12
WEEK 3	13	14	15	16	17	18	19

問1 会話文の内容に合っているものには○, そうでないものには×と答えよ。

- (1) The No.5 is too early for Julia to be ready for it, so they won't take it.
- (2) The No.6 leaves Tenjin and arrives in Kagoshima earlier than the No.7.
- (3) The No.7 will stop at as many stops as the No.5 and the No.6.

問2 会話文の下線部の内容とFARE CALENDARを参考にして、適当な運賃の組み合わせを選び、記号で答えよ。

- ア January 1st: ¥6,000 January 9th: ¥5,000 January 19th: ¥4,000
 イ January 1st: ¥4,000 January 9th: ¥6,000 January 19th: ¥5,000
 ウ January 1st: ¥5,000 January 9th: ¥4,000 January 19th: ¥6,000
 エ January 1st: ¥4,000 January 9th: ¥5,000 January 19th: ¥6,000

問3 次の条件に合うバスの便を、それぞれア～ウから選び記号で答えよ。

- (1) You are at Kurume and it is 8:50 now. You need to check in at the Airport by 11:00.
- (2) You take the bus at Tenjin and one of your friends will get on the same bus at Hakata station. And you want to arrive in Kagoshima after twelve.

ア No.5 イ No.6 ウ No.7

7 次の英文を読んで、あとの問いに答えなさい。

A teacher was talking to her students about stress *management. She showed a glass of water and asked them, "How heavy do you think this glass is?"

One of the students answered, "20 grams." Another student answered, "500 grams."

The teacher said, "Well, the *weight of the water is not important. The important thing is how long you can hold ①it. If you hold it for a minute, it's OK. If you hold it for an hour, your arm will start to hurt. If you hold it for a day, you will need an *ambulance! The weight is the same. But if you hold it (②), you feel it is heavier. The same goes for our troubles. It is really hard for us to carry them with us all the time. Sooner or later, we will not be able to carry on. You should put ③the glass down and take a rest for a while, before lifting it up again."

We have to put down our troubles and cares from time to time. Then we can get our energy back and carry on. So, be sure to make time for yourself each day to put all of your cares and troubles aside and just relax.

注) management : 対処 weight : 重さ ambulance : 救急車

問1 本文の内容に関する質問の答えになるように、()にあてはまる語を本文中の語で答えよ。

- (1) Q : What was the teacher talking about?
A : She was talking about how to control ().
- (2) Q : What did the teacher ask her students?
A : She asked them how () the glass is.
- (3) Q : What will happen if a student holds a glass of water for an hour?
A : His arm will start to ().

問2 下線部①が指すものを本文から4語で抜き出して答えよ。

問3 (②)にあてはまるものをア～ウから選び、記号で答えよ。

ア higher イ longer ウ shorter

問4 下線部③が表しているものをア～ウから選び、記号で答えよ。

ア うれしいこと イ つらいこと ウ 大切なこと

問5 本文の内容に合っているものには○、そうでないものには×と答えよ。

- ア 一人の生徒が、コップの実際の重さを正確に答えることができた。
- イ コップに入った水の重さは重要ではないと先生は言った。
- ウ 私たちは空っぽのコップを一日持ち続けることができる。
- エ 悩みや心配事を時々忘れることで、エネルギーを取り戻すことができる。

8 次の英文を読んで、あとの問いに答えなさい。

It was the summer of 1992, in Barcelona, and the Olympics 400m semi-final race was going to start. Derek Redmond was at the starting line, fully (①), as one of the favorites for gold. The crowd expected that he would win the race.

Seven years before, in 1985, he broke the British record for the 400m race. In 1986, he was already seen as a star. He won the 4×400 meters relay gold medal at the European Championships.

Of course, nothing comes without a price. His career was stopped several times because of injuries. In fact, before the 1992 Summer Olympics, he had eight operations. His (A) mind every time brought him back on the race track. In Barcelona, he was at the peak of his career.

Later he said, “I had two really good rounds without even trying and the night before the semi-final, I talked with my father and my coach and we decided to try to get a good lane for the final.”

When the gun went off, he got off to a (B) start. He got into his stride running round the first turn and he was feeling great. However, about 15 seconds into the race, he heard a popping sound. He kept on running for another two or three strides then fell to the ground. He pulled his *hamstring.

②If that was the end of his race, (ア) one would (イ) him. He realized it was all over. But he didn't like to give up at anything when he looked around and saw that everyone else crossed the finishing line. He decided to finish the race if it was the last one he ever did.

As he started trying to run again, fans started to cheer. All the doctors and officials were coming into the track, trying to stop him but he refused it. Then, with about 100m to go, he found someone else on the track. He said, “Derek, it's me, you don't need to ③do this.” That man was his father, Jim.

Derek buried his face in his father's chest. “Dad, I want to finish, get me back in the semi-final.” He said, “OK. We started this thing together and now we'll finish it together.”

His father managed to get him to stop trying to run and just walk and kept saying, “You're a champion, you don't have to keep running.” They walked over the finishing line and there was a standing ovation by the 65,000 crowd. Derek was in tears and went off.

The injury was much (C) than Derek thought. He had to retire from his career as a professional athlete. He felt like dying. Yet, he kept training and went on to play basketball for England.

We can't control over unplanned and unwanted events, like Derek's hamstring, but we can control over our own responses. Sometimes bad events actually lead to days which can change your life -for the better- just like the day that changed Derek Redmond's life.

注) hamstring : ハムストリング(太ももの裏側の筋肉の総称)

問1 (①)にあてはまる最も適当なものをア～エから1つ選び、記号で答えよ。

ア afraid イ confident ウ honest エ tired

問2 (A)～(C)にあてはまる語をア～ウから選び、それぞれ記号で答えよ。

A ア shy イ strong ウ weak

B ア busy イ good ウ wrong

C ア easier イ longer ウ worse

問3 下線部②が「もし、そこで彼がレースをやめていたら、誰も彼を覚えていないだろう」という意味になるように、(ア), (イ)にあてはまる語を答えよ。

問4 下線部③が指すものを本文から3語で抜き出して答えよ。

問5 本文の内容に合っているものには○、そうでないものには×と答えよ。

- (1) Derek was a 400m record holder in Britain.
- (2) On the day he took his starting-line, Derek was in bad condition.
- (3) Derek's father helped him to finish the race.
- (4) After Barcelona Olympics, Derek became a basketball player.

問6 以下は本文の要約文である。(1)～(3)にあてはまる語をア～エから選び、それぞれ記号で答えよ。

Derek Redmond was a British athlete. During his career, he won gold medals in the 4×400 meters (1) at European Championships.

At the 1992 Olympic Games in Barcelona, however, he tore his hamstring in the 400 meters semi-final. But he continued the (2) with assistance from his father, and managed to complete a full lap of the track as people gave him a standing ovation. The incident has become a well-remembered (3) in Olympic history.

ア moment イ Olympics ウ race エ relay